



静岡県教育委員会  
教育広報紙

# Eジャーナルしずおか

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3168 FAX 054-221-3561 E-mail kyoul\_selsaku@pref.shizuoka.lg.jp

平成26年(2014年)  
10月20日  
月曜日  
第141号

自立し、互に関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

## 地域とともにある御前崎市の学校を視察 ～第5回移動教育委員会開催～

9月17日(水)、今年度5回目となる移動教育委員会が開催され、御前崎市の浜岡中学校と白羽小学校を訪問しました。

この日、浜岡中学校は、体育大会が行われ、平日にも関わらず保護者や地域の方々が多く駆けつけ、温かな応援がされていました。綱引きの種目が始まる、観客の応援を背に、一丸となって綱を引く生徒たちの姿に県教育委員の目が釘付けになりました。

白羽小学校では、シニアスクールや授業の様子を見学しました。シニアスクールとは、シニア世代の方々子どもたちと共に学び、交流するもので、この9月から始まりました。この日は、児童とシニアが一緒に合唱し、講師のギターやフルートの演奏では、シニアとともに子どもたちは真剣に演奏を聞いていました。

午後は県教育委員と御前崎市教育委員、スクラムスクール運営協議会推進委員との懇談会を行いました。御前崎市では、「とぎれない教育」を実現するため、中学校区の保幼小中を一つの学校と捉えて連携し、「相互理解」や「親の共有」を図るスクラム・スクールプランを実施しています。話し合いでは、県教育委員から、「この取組は広域的コミュニティ・スクールとして画期的」「国の動きを先取りしている」との意見があり、今後もこの取組に注目していきたいとの声が聞かれました。

スクラムスクールでの保幼小中の縦の接続、シニアスクールでの地域との横のつながりなど、御前崎市の地域とともにある学校づくりの姿を感じることができた移動教育委員会となりました。



授業見学(御前崎市立白羽小学校)



スクラムスクールについて説明を受ける(懇談会)

【教育政策課】

**継承と改善**  
平成27年度から子ども・子育て支援新制度がスタートし、幼稚園・保

育所を取り巻く環境が大きく変わろうとしている今だからこそ、これまでのよき伝統を継承しつつ、新しいことに挑戦し、改善を図ることも勇気を持って取り組んでいくことも大切であると感じた協議会でした。  
【義務教育課】

**読書活動の充実に向けて**  
「静岡県子ども読書活動推進計画(第二次中期計画)」では、学校における子ども読書活動及び学校図書館を活用した学習活動の充実を呼び掛け、

「静岡県子ども読書活動推進計画(第二次中期計画)」では、学校における子ども読書活動及び学校図書館を活用した学習活動の充実を呼び掛け、

7月25日、県内の幼稚園・保育所・小中学校の教員、市町保育行政関係者が一堂に会した、「平成26年度幼稚園教育理解推進事業都道府県協議会」が開催されました。協議会では、日頃の実践等について話し合いが行われ、幼稚園の代表3園

が一堂に会した、「平成26年度幼稚園教育理解推進事業都道府県協議会」が開催されました。協議会では、日頃の実践等について話し合いが行われ、幼稚園の代表3園

が一堂に会した、「平成26年度幼稚園教育理解推進事業都道府県協議会」が開催されました。協議会では、日頃の実践等について話し合いが行われ、幼稚園の代表3園

が一堂に会した、「平成26年度幼稚園教育理解推進事業都道府県協議会」が開催されました。協議会では、日頃の実践等について話し合いが行われ、幼稚園の代表3園

が一堂に会した、「平成26年度幼稚園教育理解推進事業都道府県協議会」が開催されました。協議会では、日頃の実践等について話し合いが行われ、幼稚園の代表3園

が一堂に会した、「平成26年度幼稚園教育理解推進事業都道府県協議会」が開催されました。協議会では、日頃の実践等について話し合いが行われ、幼稚園の代表3園

が一堂に会した、「平成26年度幼稚園教育理解推進事業都道府県協議会」が開催されました。協議会では、日頃の実践等について話し合いが行われ、幼稚園の代表3園

が一堂に会した、「平成26年度幼稚園教育理解推進事業都道府県協議会」が開催されました。協議会では、日頃の実践等について話し合いが行われ、幼稚園の代表3園



子どもの笑顔あふれる質の高い幼稚園教育を目指して

子どもが自分なりの気持ちを積み重ね、きまりの必要性を納得して獲得していくことが、子どもにとっての自己抑制(自己コントロール)を身に付けていくことだと捉え、研究を進めました。

子どもが自分なりの気持ちを積み重ね、きまりの必要性を納得して獲得していくことが、子どもにとっての自己抑制(自己コントロール)を身に付けていくことだと捉え、研究を進めました。

子どもが自分なりの気持ちを積み重ね、きまりの必要性を納得して獲得していくことが、子どもにとっての自己抑制(自己コントロール)を身に付けていくことだと捉え、研究を進めました。

子どもが自分なりの気持ちを積み重ね、きまりの必要性を納得して獲得していくことが、子どもにとっての自己抑制(自己コントロール)を身に付けていくことだと捉え、研究を進めました。

子どもが自分なりの気持ちを積み重ね、きまりの必要性を納得して獲得していくことが、子どもにとっての自己抑制(自己コントロール)を身に付けていくことだと捉え、研究を進めました。

子どもが自分なりの気持ちを積み重ね、きまりの必要性を納得して獲得していくことが、子どもにとっての自己抑制(自己コントロール)を身に付けていくことだと捉え、研究を進めました。

子どもが自分なりの気持ちを積み重ね、きまりの必要性を納得して獲得していくことが、子どもにとっての自己抑制(自己コントロール)を身に付けていくことだと捉え、研究を進めました。

## 幼稚園教育を語る 350人集う

並ぶ方のルールを守れず、怒ってしまう。担任は、まずAさんの内面を理解し、きちんと並べたときには、褒め、クラス友達にもそれを伝え認めていきました。並ぶ方を変えようとした。並ぶ方を変えようとした。並ぶ方を変えようとした。

自分が感じる雨音を言葉にしてみると、人それぞれ違いがあることに気が付きます。道具を使って雨音を出してみよう」という問い掛けに、ある子はビニール袋にヒースを入れた。雨音は、フリスビーを持って音を出す。自分が聞いた雨音を表現します。雨音だけでなく、カエルの声や風の音も加わり、子どもたちの思いがどんどん広がります。

3園の研究発表に対して、幼児教育の研究に取り組んでいる静岡英和学院大生人間社会学部・永田恵子先生が助言をいただきました。また、その後の講話では、「乳幼児期の子どもを持つ親への支援に何が求められているかを理解する」「二人の基盤となる乳幼児期の育ちを保育者としてどう受け止めるべきかを考える」とのお話をいただきました。

## 「静岡県子ども読書アドバイザー」は、学校での読書活動を支援します!

県教育委員会では、各市町で活動するボランティアの中から、読書活動の推進役として期待する人材を一静岡県子ども読書アドバイザー」として認定しています。



## 実践NOTE 231

# 地域から学び地域を誇りに思つ子を育てる

川根本町立中川根第一小学校 教諭 西澤浩美



町の良さを継承について考える(筆者中央)

本校の学区である徳山・藤川地区は、「鹿ん舞(かんまい)」などの伝統芸能や茶産業、自然公園など、昔から受け継がれ大切にされているものがたくさんあります。本校では、6年間を通して、地域を愛し地域を誇りに思つ子を育てたいと考え、それらを受け継いでいる地域の方を含めて教材化し、各教科や総合的な学習の時間等に積極的に取り入れています。

3年生の社会科では、生活科での経験を生かし、地域の日本茶インストラクターや茶業組合の方からお茶が消費者の口に入るまでの工夫や努力を学びました。



地域の茶農家の方から茶作りの工程や工夫を学ぶ

### 茶作りへの思いを学ぶ

1・2年生の生活科での学区探検、3年生の社会科での地域産業学習を通して、お茶について学びます。

生活科での探検場所の相談では、「お茶屋さんに行きたい」と子どもたちから手が挙がります。



ホタル保護会の方から保護活動について学ぶ

地域で茶農家や製茶工場の見学を通して、茶葉が作られる工程を教えた。大きな機械に驚いたり、教えてくださった地域の方の優しさに触れて感動したりしたことを、「地区じまんマップ」にまとめました。

度々、川根本町で行われる全国ホタル研究発表会で、この活動について報告する予定です。

### 伝統芸能に学ぶ

秋になると、3年生から6年生がそろって、指定重要無形民俗文化財「鹿ん舞」の継承学習を行います。豊作を祈って舞う鹿ん舞は、牡鹿、牝鹿、百姓役が、囃子に合わせて杖を回して飛び跳ねながら進みます。

昨年度は、3年生は鹿ん舞のミニチュア人形作りと鹿の頭につける面作り、4・5・6年生は舞と囃子グループに分かれて地域の保存会の方から手ほどきを受けました。初めは頼りないステップだった牡鹿と牝鹿も、回を重ね、舞の集団を率いるステップを踏めるようになり、舞を支える太鼓や笛も、次第に力強

くなり息が合っつきました。2月の学習発表会では、子どもたちの鹿ん舞を、保護者、地域の方の前で見事に演じ、大きな拍手を浴びました。



学習発表会での「鹿ん舞」披露

### 地域のためにできることを考える

現在、6年生は、川根本町の良さを残し広めるためにできることについて考えています。子どもたちは、5年間の学習を振り返り、改めてこの町の良さを調査しました。「おいしい川根茶をもっと広めたい」「山や川などの自然を守りたい」「伝統芸能や文化財を残したい」と自分たちができることを考え始めています。

今後さらに、地域の皆さんとの交流を通して郷土のことを学び、自分たちが住む地域を誇りに思い大切にしていってほしいと願っています。



地域の方から鹿の頭づくりを学ぶ

## 実践NOTE 232

# 生徒の「関わり合いたい」を引き出す授業づくり

静岡市立清水第二中学校 教諭 望月重宏



筆者生徒のゴールの姿を思い浮かべ支援する(筆者右)

本校では、「自己をより豊かに表現できる生徒の育成」を目指し、研修を進めています。そして、課題解決のために、生徒同士が関わり合い、高め合う授業となるよう手立てを講じています。

理科の授業において、生徒が目的意識を持って観察・実験を行うために、生徒からの問いが生まれるような教材の選択を心がけています。また、目的意識が、問題解決の過程で持続するようにも心掛けています。



自分で考えた仮説に基づき検証実験をする

### 学ぶ必然性のある授業

今回は、中学2年生の「酸化還元」の内容で実践を試みました。まず、二酸化炭素の中でマグネシウムを燃やす実験を行いました。これまで二酸化炭素の中では、ろうそくの炎は消えるなどの経

験をしてきた生徒の予想に反し、マグネシウムは激しく燃焼しました。生徒は「なぜ燃えるの?」など驚きとともに問いを発しました。その後「燃えるためには、酸素が必要だ」「二酸化炭素の中の酸素原子が関係しているのでは?」など生徒自ら仮説を立て、自主的に追究が行われました。同時に、問題を解決する過程で生徒同士の関わり合いも必然的に生まれました。



自分の考えを書く(時間を確保する)

まどめた上で、話合いに参加すること、これまで傍観者となっていた生徒も意見を言いやすくなった。友達同士の意見を聞くときにも自分の意見と比べてどうなのかと視点を持って聞いたりできず、筋道立てた考えを書けるようになってきました。

これまでの実践を通して、まず、教師が、一時間一時間の授業における生徒のゴールの姿(何を身に付けさせるのか、何を考えさせるのか)をイメージすることが大切であると考えました。それにより、どのような教材を扱うか、学習活動の中心を何にするのか、関わり合う目的を何にするのか、など支援すべきことがはっきりしてきました。

グループの話合いにおいても、ホワイトボードを常に机の傍らに置き、気軽に考えを書いたり、修正したりしながら、話し合いを補助します。



他のグループを回り自分たちの考えを披露

今回の実践の中でも、粒子モデルのイラストや化学反応式など様々な表現方法で自分の意見を表現することができました。その後、自分たちグループの考えを伝えたい、他のグループの考えを聞きたいと意欲が外に向いていきました。

個人の考えからグループの考え、学級の考えへ、と生徒の思考の流れに沿って無理なくゴール(本時の目標)に収束しました。

ゴールをイメージして、これまでの実践を通して、まず、教師が、一時間一時間の授業における生徒のゴールの姿(何を身に付けさせるのか、何を考えさせるのか)をイメージすることが大切であると

今後、関わり合いにより生徒の考えがどの程度に身に付いたかを検証し、より効果的な関わり合いの場面や方法を考えていきたいです。同時に、生徒が自分の思いを安心して表現できるように、授業だけでなく学校生活全ての中で、良好な人間関係を築けるような取組を進めていきます。

グループ内の話合いの前に、実験レポートにまず自分の考えを書いてまとめる。自分の意見を



第6回コンクールより

今年一度開催される若きオペラ歌手の登壇門静岡国際オペラコンクール。予備審査を通過した国内外のオペラ歌手約70人が、栄冠を目指します。予選から本選までの9日間にかたり、出場者は国際コンクール独特の雰囲気と緊張感の中でオペラの aria 等の審査を受けます。オペラファンもオペラは初めてという方も是非会場へお越しください。場内に響き渡る鍛え抜かれた声の競演をお楽しみください。

- ◆チケット情報  
第1次予選 一般自由(各日) 500円  
第2次予選 一般自由(各日) 1,000円  
本選 一般指定(1階) 3,000円  
一般自由(3.4階) 1,500円  
学生自由(3.4階) 500円  
入賞者記念コンサート(全席自由)  
静岡公演 一般 1,500円 学生 500円  
東京公演 一般 2,000円 学生 1,000円  
※通しバス券(公式プログラム付) 5,000円  
※学生は第1次・第2次予選は無料。
- ◆コンクール日程  
第1次予選 11月8日(土)~10日(月)  
第2次予選 11月12日(水)~13日(木)  
本選 11月16日(日)  
(会場)アクトシティ浜松大ホール  
入賞者記念コンサート  
静岡公演 11月18日(火)  
(会場)静岡音楽館AOI  
東京公演 11月20日(木)  
(会場)浜離宮朝日ホール
- 静岡国際オペラコンクール実行委員会  
053(457)6446  
http://www.suac.ac.jp/opera/



# 静岡県子ども若者育成支援強調月間

## 「今、大人の私たちにできること」

健全な子ども・若者の育成は、全ての大人の責任です。

近年、我が国では、国際化の進展や情報メディアの急速な発展などにより、子ども・若者を取り巻く状況が目まぐるしく変化しています。携帯電話やスマートフォン等の普及による「ネット依存」や「社会問題化し、児童虐待やいじめ自殺などの痛ましいニュースも後を絶ちません。

雇用情勢も依然厳しい状態が続く、子どもの貧困率や就学援助を受けている小中学生の割合は上昇傾向にあります。今、私たち大人は、未来を担う子どもや若者たちのために、いったい何ができるのでしょうか。

子ども若者育成支援強調月間とは？

国が定める「子ども・若者育成支援推進法」に基づき、関連する施策を確実に推進するため、県では11月を「子ども・若者育成支援強調月間」と定め、市町と連携して「子ども・若者育成支援の機運を盛り上げるため、様々な事業を行います。

子ども若者育成支援強調月間静岡県大会

今年度は、11月14日(金)に藤枝市生涯学習センターで開催します。本大会では、優れた活動を地域で地道に展開し、明るく住みよい地域づくりに貢献している青少年団体や個人、またはその指導者に対し、表彰を行います。

子ども若者のために

子ども・若者育成支援の関連イベントとして、市町において、大会研修会、キャンペーン等が行われています。是非お近くの会場へ足を運び、子ども・若者を取り巻く状況や、子ども・若者の声に耳を傾けてください。

子ども・若者のために

子ども・若者のために

子ども・若者のために

子ども・若者のために

子ども・若者のために

子ども・若者のために



教え子たちとの「お楽しみ会」で(筆者中央)

## 子ども感性に導かれて

いままさか、1匹は「えらい」です。掃除が終わるとすぐ小屋に戻るからです。もう1匹は「ダイエツ」です。この頃、餌をあまり食べないで先に水を飲むからです。2匹とも気に入っているうさぎです。

## 子どもとトトロの世界

宮崎監督のアニメ映画『となりのトトロ』は、もはや知らない人の方が少ないでしょう。引越してきた田舎のおんぼろ家やその周りを2人の姉妹はワクワクしながら探検し始めます。閉め切った2階の暗い部屋に棲む「まつくろくろすけ」、裏の森に棲む「トトロ」や「ネコバス」という生き物に出会うのですが、その姿は2人の目には映らないのです。私は学校で子どもたち

## 生活科に巡り合っ

私は、低学年担任の経験が多く、平成元年に生活科が新設されたころも1・2年生の担任を繰り返してまいりました。この新しい教科と出会ったとき、子どもの一挙手一投足に気づき向かい合う機会を与えてくれました。子どもが育つ中で、自ら

## 根付いていた学力

8年前の暮れに、1年生から2年生と2年間続けて担任した子たち(冒頭の日記のKさんたち)が「お楽しみ会」と称して、私の同窓会を催してくれました。思い出に浸る中で、自

## 子どもは見立ての名前

「先生、学校のうさぎに名前がついたのを知っていますか。子どもは、周りの事柄

### 平成26年度 社会教育主事講習

#### 【静岡会場】 受講生募集!

※平日の27日開

- 会場：静岡県教育会館
- 募集人数：25人まで
- 受講料：無料。社会教育演習で実施される宿泊研修費は実費負担(2泊3日、7000円程度)
- 募集開始：11月上旬頃

総がかりで教育を展開することが強く求められている現代。県教育委員会では、地域の社会教育・生涯学習を推進するコーディネーターとして活躍する「社会教育主事」有資格者の養成に努めています。今年度、1月から2月にかけて、東京会場と併行し、静岡会場を設けます。この機会に社会教育について学んでみませんか。

#### ◎社会教育主事講習について

期間：平成27年1月21日(水)～2月27日(金)

◎受講資格は？

社会教育主事講習等規程第2条の各号の一に該当する方(例えは、  
①大学に2年以上在学し、62単位以上修得した方  
②教育職員の普通免許状を有する方  
③2年以上生涯学習・社会教育関係の職にあつた方や公民館等社会教育施設において事業の企画実施を担当している非常勤等の職員の方など)  
※右の①、③のみであれば、該当しなくても社会教育に興味のある一般の方も受講可。

◎「分割履修」も可能  
講習修了に必要な単位は以下のとおりです。  
○生涯学習概論(2単位)  
○社会教育計画(2単位)  
○社会教育特講(3単位)  
○社会教育演習(2単位)  
※複数年にわたり「概論」計画「演習」の順に単位を修得することも可能です。また、放送大学等で修得した単位も認定されます。

◎申込みの際の必要書類等も含め、お気軽に御相談ください。

問 社会教育課総務企画班  
TEL 054(221)3163  
FAX 054(221)3362

昨年度の講習の様子

### ムセイオン静岡 文化の丘フェスタ2014

#### 平成26年度静岡県埋蔵文化財センター遺跡調査報告会

#### 「ふじのくにの原像をさぐる」開催!

静岡県内において近年行われた発掘調査の成果から、最新情報を選んでお届けします。ここでしか聞けない遺跡の情報満載です。

■日時 11月8日(土)午後1時30分～午後4時

■会場 県立中央図書館講堂(静岡市駿河区谷田53-1)

■発掘調査報告内容

- 鷹ノ道遺跡(たかのみちいせき) [静岡市]～弥生時代方周溝墓の発見～
- ミカノセ遺跡(みかのせいせき) [南伊豆町]～河川跡で発見された護岸遺構～
- 郷ヶ平古墳群(ごうがひらこふんぐん) [浜松市]～古墳から出土した形象埴輪～
- 海戸田遺跡(かいとだいせき) [岡川町]～中世の流路跡から発見された水利遺構～

■その他 定員200人(先着)、事前申込み不要、参加費無料。(定員を超えた場合は入場をお断りする場合があります)

発掘作業風景

ミカノセ遺跡護岸遺構(南伊豆町)

問 県埋蔵文化財センター TEL 054(262)4261 FAX 054(262)4266  
Eメール maibun\_tyosa@pref.shizuoka.lg.jp



総合教育センター **あひだ** Angle

# ソーシャルスキルを高める

—研修を生かし、現場で学ぶ—

現在、学校には、保護者や地域住民とともによく考え、話し合っていくこと(熟議、同じ目標に向かって、一緒に活動していくこと(協働))を軸として、学校を中心に人をつなぎ、学校の組織力を上手に引き出すこと(学校のマネジメント)が強く求められています。

## 現場で学ぶ

このような状況下、教員にとって、発信、傾聴、質問、柔軟性などのソーシャルスキルを磨くことは、これまで以上に重視される研修課題になっています。

## センターで学ぶ

当センターでは、小・中学校、高等学校、特別支援学校の全職種における新規採用教員の研修において、ソーシャルスキル演習を行っています。

受講した教員からは「保護者の立場に対して取り組み、自己の対応について配慮に欠けた部分があったことに気が付いた」「先日、地域の方から

電話を受け、しどろもどろになってしまった。今日の電話対応のシミュレーションは大変助かった」「先輩教員に自分の思いを伝えることができなかったが、これからは先輩教員を尊重した上で自分の思いを素直に伝えていきたい」といった感想が述べられました。

新採用教員には、研修での要点を振り返り、しながら、学校現場で実践的に学び、意識的にソーシャルスキルを磨いて欲しいと思います。また、所属校では、新規採用教員のスキル向上のために支援をお願いします。

## 【専門支援課研修班】

## 第22回 図書館大会 参加者募集

図書館大会は、読書や図書館に関心を持つ人たちが集い、研修・交流する県内最大のイベントです。午前のライブトークでは、話題の書店等を次々と手がけているブックディレクター 幅永孝(はばよし)さんとパネリストをお迎えします。また、午後に行う七つある分科会の一つでは、絵本【となりのせきのますだくん】で有名な武田美穂さんに講演いただきます。武田さんの講演会では、絵本の読み聞かせや作品に対する思いを聞くことができます。その他分科会や詳細については当館ホームページを御覧ください。

- 日時 12月8日(月)午前9時45分～午後3時45分
- 場所 グランシップ(静岡市駿河区池田79-4)
- 内容
  - ・ライブトーク 午前10時50分～午後0時30分  
テーマ「本とひと」を結ぶためにできること?」
  - ・分科会(7テーマ) 午後1時45分～午後3時45分
- 対象 どなたでも参加できます。(要事前申込み)
- 申込締切り 11月6日(木)
- ※武田美穂氏講演会(第3分科会)については11月20日(木)まで。
- 中・間 県立中央図書館企画振興課 054(262)1246
- ※詳細は、[HP](#) 静岡県立中央図書館 [検索](#)

## ふじのくに芸術祭2014

- ★今年はこちらにパワーアップ!「舞踊公演」
- 「現代舞踊」「日本舞踊」「バレエ」の3種類のダンスの共演。見ごたえある華やかな舞台を御覧ください!!
- 日時 11月2日(日) 開場:午後1時30分 開演:午後2時
- 会場 焼津文化会館 大ホール(入場無料)
- 入場には整理券が必要( 團県バレエ協会 0545-66-5525)
- ★鑑賞する石とはどんなもの?「水石展」
- 「水石」とは、室町時代から続く、石を室内で鑑賞する文化です。選り優れた鑑賞石を御覧ください!!
- 日時 11月28日(金)～30日(日) 午前9時～午後4時
- 初日は正午から展覧開始。最終日は午後3時まで。
- 会場 菊川文化会館アエル 小ホール(入場無料)
- 中・間 文化政策課 054-221-2254

## ふれあい事業 焼津青少年の家まつり 「フェスタ石津浜」開催します

焼津青少年の家では、地域の関係機関・団体との連携協力のもと、地域とのコミュニケーションを図り「みなさんが集う青少年の家」づくりを目指しています。

そこで、日頃お世話になっている地元のみなさんに楽しいひとときを過ごしていただきたいという願いをこめて「青少年の家まつり」を開催します。どなたでも御自由に参加いただけるイベントです。皆様のお越しをお待ちしています。

- 日時 11月16日(日) 午前10時～午後3時
- 内容 ステージ発表、展示作品発表、アトラクション、活動プログラム体験、お祭りコーナー、売店コーナー、防災コーナー、浴室開放など。
- 参加料 無料(活動プログラム体験は材料費が必要)
- 中・間 県立焼津青少年の家(焼津市石津2259-408) 054(624)4675



焼津の特産品を販売するコーナーもあります。

### EDITOR

心地よい風に誘われ外へ出歩くと、学校から体育大会の元気な音が響いてきます。その秋が、すがすがしい空の下、体を動かすには絶好の季節となりました。

1面の移動教育委員会で訪問した日、はらうと学校の体育大会の様子を、政田君が前撮りして、生きた生きた生活の姿に、周りの大きな声も上げて笑顔で応援して、います。小学校は、場所を移した後の授業参観で、クラスの友達の発言も、分かるよ、分かるよと、喜びを返す姿が、目を惹きます。大切にしたい授業が行われて、戻された。これは、前号の140号に掲載した、わたしの主観の14最優秀賞受賞者の発表にあつたことを思い出して、改めて、大切に感じたいです。

【講師】宮本 淳子氏  
(常葉大学短期大学部助 教)元K・m・t・ハ・ソナリ

【場所】当館会議室

【日時】11月3日(月) 祝 14時～15時30分

【申込】問合せ先 県立中央図書館企画振興課 054(262)1246 <http://www.losyokan.pref.shizuoka.jp>

【大人が絵本をひらくとき】

子どもだけでなく大人 の心も魅了する絵本の世界。大人ならではの読み方、感じ方、絵本に迫って みませんか? 「物語」メディアとしての絵本の物語構成やメッセージ性について、作品の朗読を交えながら解説していただきます。

【日時】11月9日(日) 14時～15時30分

【講師】清水奈緒子氏 (静岡英和学院大学非常勤講師・児童文学翻訳家)

【場所】当館中集会室(定員) 30人

(先着順・要事前申込み) 14時～15時30分

【日時】11月9日(日) 14時～15時30分

【講師】清水奈緒子氏 (静岡英和学院大学非常勤講師・児童文学翻訳家)

【場所】当館中集会室(定員) 30人

(先着順・要事前申込み) 14時～15時30分

【日時】11月9日(日) 14時～15時30分

【講師】清水奈緒子氏 (静岡英和学院大学非常勤講師・児童文学翻訳家)

【場所】当館中集会室(定員) 30人

(先着順・要事前申込み) 14時～15時30分

文化の丘フェスタ 講演会参加者募集

文化芸術の秋は、とびきりの学びを図書館で!

【定員】70人 (先着順・要事前申込み)

講演会② 「花子とアンと静岡」

カナダの作家モンゴメリの小説『赤毛のアン』の邦題で日本に紹介した翻訳家・村岡花子さん、彼女が東洋英和女学院で学び、山梨英和学院で教員を務めました。この2校の姉妹校が静岡英和女学院です。講演会では、村岡花子さん、静岡のつながりや、村岡花子さんの人物像等について、お話しさせていただきます。

【日時】11月9日(日) 14時～15時30分

【講師】清水奈緒子氏 (静岡英和学院大学非常勤講師・児童文学翻訳家)

【場所】当館中集会室(定員) 30人

(先着順・要事前申込み) 14時～15時30分

【日時】11月9日(日) 14時～15時30分

【講師】清水奈緒子氏 (静岡英和学院大学非常勤講師・児童文学翻訳家)

【場所】当館中集会室(定員) 30人

(先着順・要事前申込み) 14時～15時30分

国語の先生必見!「ことば」のおもしろさを再認識。

11/16日 14:00~

会場/大岡信ことば館 (JR三島駅北口より徒歩1分) 全席自由/500円(事前申込制)

詩人・大岡信 監修 2014 SHIZUOKA 連詩の会 in 三島

連詩創作: 野村喜和夫(詩人)、覚和歌子(詩人・作詞家)、大岡亜紀(画家・詩人)、東直子(歌人・作家)、木下弦二(音楽家)

監修: 大岡信(詩人・三島市出身)

今、「ことば」のチカラを大切にしている学校が増えています。今年は、様々な分野で活躍するアーティストが、この日のために創作した連詩を朗読・解説。教育に携わる皆様は、「ことば」のおもしろさを肌で感じていただける楽しいイベントです。

【お申込み・お問い合わせ】大岡信ことば館「しずおか連詩の会」係 TEL 055-976-9160 FAX 055-989-1360 メール [kotobakan@zkai.co.jp](mailto:kotobakan@zkai.co.jp) ※お申込みの際は、住所・氏名・電話番号・参加人数をお知らせください。